ThinkVantage 指紋認証ユーティリティ

第 1 版 (2005 年 11 月)

目次

章 1. ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのインストール

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティへようこそ。この製品には指紋による生体認証技術が取り入れられており、高度なセキュリティ機能を容易に実現できます。このアプリケーションは Windows 2000 および Windows XP 上で動作します。

メモ： ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのインストールまたはアンインストールには管理者権限が必要です。

ソフトウェアのインストール

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティは、Windows 2000、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional Edition のいずれかが稼動するコンピュータにインストールできます。ただし管理者権限が必要です。また、外付け指紋センサと接続するためには、USB ポートが必要です。

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのインストール手順を以下に示します。

1. インストール CD を CD-ROM ドライブに入れてください。

   ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの画面が表示されます。
2. ソフトウェアのインストール アイコンをクリックします。ユーティリティ画面が表示されない場合は、CD 上にある **Setup.exe** を実行してください。

   インストール ウィザードの開始画面が表示されます。
3. ［次へ］をクリックします。

   使用許諾契約書が表示されます。
4. 使用許諾契約書をよくお読みください。
5. 使用許諾契約書に同意するかどうか、ラジオ ボタンで選択します。

   メモ：この製品をインストールするためには使用許諾契約書に同意する必要があります。使用許諾契約書に同意できない場合は［キャンセル］ボタンをクリックして、アプリケーションを終了してください。

   ユーザー情報画面が表示されます。
6. 必要な情報を入力し、［次へ］をクリックします。
7. インストール先ディレクトリと、［スタート］メニューのフォルダを確認し、必要に応じて変更します。
8. プロンプトが表示されたら、コンピュータを再起動してください。

   これでインストール作業は終わりです。コンピュータを再起動するとログオン画面が表示されます。

メモ：この過程で、必要なデバイス ドライバもすべてインストールされます。外付け指紋センサを使う場合、これを実際に接続するのは、インストールが終了しコンピュータを再起動した**後に**してください。

ソフトウェアのアンインストール

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのアンインストール手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［設定］>［コントロール パネル］をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックしてください。
2. ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。

3. ［削除］ボタンをクリックします。

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを使ってこれまでに作成した、パスポートの取り扱いについて確認するメッセージが表示されます。次の 2 つの選択肢があります。

- すべてのデータをコンピュータに保存したままにする。この場合、将来 ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを再インストールすれば、登録された指紋を継続して使うことができます。
- ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのデータをすべて削除する。この場合、登録された指紋はすべて永久的に削除されます。

パワーオン セキュリティ機能を有効にしていた場合は、これを無効にするか、あるいは有効なままにしておくかを確認するメッセージが表示されます。パワーオン指紋認証を有効なままにしておけば、このコンピュータへのアクセスは、BIOS レベルで指紋により保護されます。ただし、コンピュータに保存されている指紋を編集するには、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを再インストールする必要があります。

章 2. はじめに

この章では、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを初めて使う際の操作について説明します。

初めてのログオン

インストール後初めてログオンすると、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの*コントロールセンター*が表示されます。

コントロールセンターの使い方

これは ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの各コンポーネントに共通のユーザー インターフェースです。基本的な情報を取得したり、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの各機能へアクセスしたりするために使用します。利用可能な個々の機能については、5 ページの「第 3 章 ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの使い方」を参照してください。

コントロールセンターの使い方を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. コントロールセンターのメイン画面が表示されます。ここには［指紋］、［設定］、［チュートリアル］、［ヘルプ］の各トピックが表示されています。トピックをクリックすると、このトピックで利用可能な操作の一覧が画面に表示されます。
3. トピックをクリックすると、このトピックで利用可能な操作が表示されます。

新しいパスポートの作成

メモ： ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのパスポートは Windows NT のユーザーごとにそれぞれ作成する必要があります。

パスポートを作成する手順を以下に示します。

1. コントロールセンターで［指紋］トピックをクリックします。［指紋の登録または編集］をクリックします。
2. ウィザード画面が表示されます。先頭ページの説明をよくお読みください。［次へ］をクリックします。
3. ユーザー名、パスワード、(必要ならば) ドメインを入力し、［次へ］をクリックします。
4. 指紋サンプルの作成手順が表示されますので、よくお読みください。［次へ］をクリックすると指紋チュートリアルに切り替わります。初めて使用される場合、このチュートリアルで学習することを強くお勧めします。
5. チュートリアルでは、指紋の正しいスキャン方法、誤ったスキャン方法を、短いビデオで説明しています。また、実際に指紋をスキャンしてみることができます。細かい手順は画面上に表示される指示に従ってください。チュートリアル終了後は［次へ］をクリックして登録処理に進みます。
6. 手が表示された画面が現れます。指紋を登録する指をクリックし、実際の登録処理を始めます。

7. 選択した指の指紋のサンプルを 3 つ作成する必要があります。この 3 つのサンプルが合成され 1 つの指紋パスポートになります。パスポートに使用できるサンプルが 3 つ作成されるまで、何度か指紋センサに指を通します。
8. お使いのセンサがパワーオン セキュリティに対応している場合、[パワーオン] ボタンも各指の上に表示されます。このボタンは、既定では押された状態で表示されます。つまり、パワーオン認証に対しても指が自動的に追加されます。
9. 次のいずれかの操作をしてください。
   – 別の指を選択してその指紋を登録します。(少なくとも 2 本の指を登録するようお勧めします。)
   – [次へ] をクリックします。
10. 指をパワーオン セキュリティに追加する場合、最終ページで説明する以下の操作を実行する必要があります。
   – コンピュータの電源を切ります。
   – コンピュータの電源を入れます。
   – プロンプトが表示されたら指を読み取ります。プロンプトが表示されたらパワーオン パスワードを入力します。(これによって、指とパスワードが関連付けられます。)
11. これで終了です。[完了] をクリックしてください。

章 3. ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの使い方

この章では ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの機能と使い方を説明します。

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの起動には、[スタート] > [プログラム] > [ThinkVantage] > [指紋認証ユーティリティ] > [コントロールセンター] を選択します。

コントロールセンターのメイン画面が表示されます。ここには [指紋]、[設定]、[チュートリアル]、[ヘルプ] の各トピックが表示されています。トピックをクリックすると、このトピックで利用可能な操作の一覧が表示されます。

メモ:

1. コンピュータの保護のためには Windows パスワードを設定しておく必要があります。Windows パスワードを設定しておかないと、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティがあってもアクセスの安全性を保証することはできません。

2. ThinkVantage 指紋認証ユーティリティは、Novell ネットワーク ログオン機能とも連携します。Novell 3.x、4.x、5.x のネットワークのほか、Novell Client for Windows、Microsoft native support for Novell にも対応しています。ThinkVantage 指紋認証ユーティリティを介して Novell ネットワークに自動ログオンするためには、Windows 側のユーザー名とパスワードが、Novell 側のそれと一致している必要があります。

ログオン画面

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティでは、ユーザーの認証に、クライアント セキュリティ ソリューション、指紋センサ (ハードウェア)、および**パスポート**を使います。**パスポート**ファイルには、生体認証に必要な指紋データが格納されています。

コンピュータにログオンしようとすると、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのログオン画面が表示されます。ここでは、指紋センサに指を通すか、**Ctrl + Alt + Del** キーを押し、パスワードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。

ユーザーはログオンの際に指紋で認証を受ける必要があるほか、ログオン後も一定時間放置すると、パスワードで保護された Windows スクリーン セーバーが表示され、認証を求められます。

コントロールセンター

コントロールセンターのメイン画面はアプリケーションを起動すると最初に表示されます。ここには [指紋]、[設定]、[チュートリアル]、[ヘルプ] の各トピックが表示されています。トピックをクリックすると、このトピックで利用可能な操作の一覧が画面に表示されます。

指紋

パスポートの登録、編集、削除、エクスポート / インポートを行う画面です。利用可能な操作の一覧は、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのバージョン、認証ハードウェア、既存のパスポート、ユーザーのアクセス権限によって異なる場合があります。

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティでは、各ユーザーの識別に**パスポート**を使います。このファイルには生体認証に必要な指紋データが格納されています。パスポートは、Windows NT のユーザーごとに 1 つしか作成できません。

指紋の登録または編集

メモ： セキュア モードの場合、各ユーザーのパスポート登録は管理者が行います。ただし、各ユーザーがログオン中に、自分で登録できるよう設定することも可能です。

パスポートを作成し、指紋を登録する手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. 必要ならば［指紋］をクリックします。
3. ［指紋の登録または編集］をクリックします。
4. Windows パスワードを入力し、［次へ］をクリックします。
5. ウィザード画面が表示されます。先頭ページの説明をよくお読みください。［次へ］をクリックします。
6. ユーザー名、パスワード、（必要ならば）ドメインを入力し、［次へ］をクリックします。
7. 指紋サンプルの作成手順が表示されますので、よくお読みください。［次へ］をクリックすると指紋チュートリアルに切り替わります。初めて使用される場合、このチュートリアルで学習することを強くお勧めします。
8. チュートリアルでは、指紋の正しいスキャン方法、誤ったスキャン方法を、短いビデオで説明しています。また、実際に指紋をスキャンしてみることができます。細かい手順は画面上に表示される指示に従ってください。チュートリアル終了後は［次へ］をクリックして登録処理に進みます。
9. 手が表示された画面が現れます。指紋を登録する指をクリックし、実際の登録処理を始めます。
10. 選択した指の指紋のサンプルを 3 つ作成する必要があります。この 3 つのサンプルが合成され 1 つの指紋**パスポート**になります。

    指紋センサで指を読み取ります。1 つの指紋を登録するためには、質のよい指紋画像が 3 つ必要です。最大 10 本の指の指紋を登録できます。ただし同じ指の指紋を複数のパスポートに登録することはできません。
11. お使いのセンサがパワーオン セキュリティに対応している場合、［パワーオン］ボタンも各指の上に表示されます。このボタンは、既定では押された状態で表示されます。つまり、パワーオン認証に対しても指が自動的に追加されます。
12. 次のいずれかの操作をしてください。
    - 別の指を選択してその指紋を登録します。（少なくとも 2 本の指を登録するようお勧めします。）
    - ［次へ］をクリックします。
13. 指をパワーオン セキュリティに追加する場合、最終ページで説明する以下の操作を実行する必要があります。
    - コンピュータの電源を切ります。
    - コンピュータの電源を入れます。
    - プロンプトが表示されたら指を読み取ります。プロンプトが表示されたらパワーオン パスワードを入力します。
      （これによって指とパスワードが関連付けられます。）
14. これで終了です。［完了］をクリックしてください。

パスポートや指紋を編集する手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. 必要ならば［指紋］をクリックします。
3. ［指紋の登録または編集］をクリックします。
4. ［ユーザーのパスポートを開いています］画面が表示されます。
5. 指紋センサで指を読み取るか、Windows パスワードを入力し、［次へ］をクリックします。
6. 次のいずれかの操作をしてください。
   - 新しい指紋を登録する手順を以下に示します。
     - 登録する指を選びます。該当する画像をクリックするか、ドロップダウンメニューから選択し、［登録］をクリックしてください。
     - 指紋センサで指を読み取ります。1 つの指紋を登録するためには、質のよい指紋画像が 3 つ必要です。最大 10 本の指の指紋を登録できます。ただし同じ指の指紋を複数のパスポートに登録することはできません。
     - 必要ならば他の指についても同じ操作を繰り返します。
   - 指紋を削除する手順を以下に示します。
     - 該当する画像をクリックして削除する指を選択します。
     - 確認を求められるので、［OK］をクリックします。
7. これで指紋の登録または削除は終わりです。［次へ］をクリックしてください。

認証デバイスがパワーオン セキュリティに対応していれば、［パワーオンセキュリティ］画面が表示されます。パワーオン セキュリティ機能の詳細については、塔pワーオンセキュリティ　を参照してください。必要な選択をして［完了］をクリックします。

削除

メモ：セキュア モードでは、管理者のみパスポートを削除することができます。

既存のパスポートを削除するには

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. 必要ならば［指紋］をクリックします。
3. ［削除］をクリックします。
   - 簡易モードの場合は、操作したユーザーのパスポートが削除されます。
   - セキュア モードの場合は、既存のパスポートが一覧表示されます。削除するパスポートを選択し、［完了］をクリックしてください。

パワーオン セキュリティ機能が有効であれば、このパスポートに対応する指紋データを削除するかどうかをここで選択できます。パワーオン セキュリティ機能を使用していて、登録した指紋を削除しなかった場合、今後ログオンする際に新しいパスポートを登録するか、**Ctrl + Alt + Del** キーを押し、パスワードを入力してログオンすることになります。

ユーザーのインポートまたはエクスポート

メモ：管理者はどのパスポートでも削除できます。それ以外のユーザーは、自分自身のパスポートしか削除できません。

既存のパスポートをエクスポートするには

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. 必要ならば［指紋］をクリックします。

3. ［ユーザーのインポートまたはエクスポート］をクリックします。
4. エクスポート先ファイル（拡張子 .vtp）を選択します。
5. パスワードを入力してください。エクスポートしたデータを保護し、自分の指のデータであることを確認するために必要です。

パスポート アーカイブをインポートするには

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. 必要ならば［指紋］をクリックします。
3. ［ユーザーのインポートまたはエクスポート］をクリックします。
4. パスポート ファイル（拡張子 .vtp）を参照します。
5. パスワードを入力します。

設定

システム設定

［システム設定］ダイアログは、システム構成によっても異なりますが、いくつかのページに分かれています。以下に説明するページすべてが表示されるとは限りません。

全般

［Windows の［ スタートアップ ］メニューの［ コントロールセンター ］を表示］チェック ボックスは、システム起動時にコントロールセンターのメイン画面を表示するか否かの切り替えに使います。

ログオン

ログオン設定画面では次のような事項を設定できます。

- Windows のログオン画面を、指紋認証機能を組み込んだログオン画面に置き換えること。
- パワーオン セキュリティにより認証済みのユーザーは自動ログオンできるようにすること（オプション）。
- ユーザーの簡易切り替え機能を有効にすること（オプション）。

メモ：管理者のみログオン設定を変更することができます。また、変更内容によってはコンピュータの再起動が必要です。

ログオン設定を変更する手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. ［設定］をクリックします。
3. ［システム設定］をクリックします。［ログオン］ページに切り替えます。
4. チェック ボックスで、以下の各項目のオン / オフを切り替えてください。
   - **ログオンサポートを有効にする**
     ログオン時の指紋認証の有無を切り替えます。オンにすると、指紋認証により

ログオンできるようになります。オフならば指紋認証は使えず、Windows パスワードを入力してログオンする必要があります。

- **CTRL+ALT+DEL メッセージを表示しない**
  オンにすると、標準の Windows CTRL+ALT+DEL メッセージが表示されず、指を読み取るためのヒントだけが表示されます。(CTRL+ALT+DEL メッセージは、Ctrl + Alt + Delete キーを押すと呼び出すことができ、これによってユーザーはユーザー名とパスワードを使用してログオンすることができます。)
  メモ：ユーザーの簡易切り替え機能は、有効であった場合でも自動的にオフになります。
- **パワーオンセキュリティの単一サインオンを許可する**
  オンにすると、パワーオン認証と Windows 認証の機能が連携するようになります。パワーオン セキュリティ機能で使用される指紋が、ある既存のパスポートの指紋と一致する場合、該当するユーザーは、Windows に自動的にログオンできます。
  このチェック ボックスをオンにすると、同じ指紋資格情報が、パワーオン認証と Windows 認証の両方で使われるようになります。オフであれば、パワーオン認証が有効であっても、Windows にログオンする際には改めて指紋認証が必要です。
- **ユーザーの簡易切り替えサポートを有効にする**
  このチェック ボックスを使用して、Windows XP に組み込まれた、ユーザーの簡易切り替え機能を有効および無効にすることができます (お使いのシステムが対応している場合)。ユーザーの簡易切り替え機能に対応しているが、有効になっていない場合、お使いのシステムでユーザーの簡易切り替えを有効にするよう指示されます。クライアント セキュリティ ソリューションがインストールされている場合、Windows XP のユーザーの簡易切り替えには対応しません。

［完了］をクリックします。

この後コンピュータを再起動する必要があります。

セキュリティモード

［セキュリティモード］画面では、指紋認証機能に関する管理権限の取り扱い方を設定します。簡易モードとセキュア モードの 2 つのセキュリティ モードがあります。簡易モードでは、どのユーザーの権限も同じです。自分自身のローカル パスポートを作成する権限、デフォルトのパスポート タイプを選択する権限などが、どのユーザーにも与えられます。

しかしセキュア モードに切り替えると状況が変わります。管理機能を無制限に使えるのは、管理者権限を持つユーザーに限ります。その他のユーザーは、(セルフ登録を許可する設定の場合を除き) パスポートを管理者に依頼して作ってもらう必要があります。編集できるのは自分自身のパスポートに限ります。また、セキュア モードから簡易モードに戻す操作も、管理者にしかできません。

セキュリティ モードを切り替える手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. ［設定］をクリックし、［セキュリティモード］画面に切り替えます。
3. セキュリティ モードを選択します。次の中から選択してください。
   - **セキュア モード。**このモードでは、ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの管理には管理者権限が必要です。管理上重要な機能は特定の管理者しか実行できないようにして安全性を確保します。
     ［管理者グループ］ボタンをクリックし、管理者権限を持つユーザーの一覧を編集してください。
     ［ログオン時にユーザーのセルフ登録を許可する］をオンにすると、管理者権限のない一般のユーザーでも、自分自身の指紋を登録できるようになります。

- **簡易モード。**家庭用で、セキュリティよりも使い勝手を重視する場合を想定したモードです。

メモ：セキュア モードから簡易モードへの切り替えは管理者しかできません。

音声

指紋認証ユーティリティの操作が成功または失敗したときに使用する音声を選択します。既定のシステム音声を使用したり、音声を無効にしたりすることができます。また、任意のオーディオ ファイル（.wav 形式）を参照することもできます。

パワーオンセキュリティ

パワーオン セキュリティ機能は、BIOS レベルの機能を使って、コンピュータへの許可されていないアクセスを防止する機能です。パワーオン セキュリティ機能が有効になっているコンピュータには、指紋認証を通過しなければオペレーティング システムが読み込まれません。

コンピュータ起動時に、10 秒間指紋センサで指を読み取る必要があります。コンピュータは、スキャンされた指紋が登録されている現在のユーザーのパスポートに一致する場合のみ起動します。。認証に成功すると、起動プロセスが通常どおり続行されます。4 回続けて認証に失敗するとアクセスは拒否され、コンピュータを再起動しなければならなくなります。

指紋認証ユーティリティのパワーオン セキュリティを有効にする手順

パワーオン セキュリティを有効にするためには、あらかじめ指紋データをパワーオン セキュリティ メモリに登録しておく必要があります。パスポート作成の際、パワーオン セキュリティが有効になっていれば、自動的に［パワーオンセキュリティ］画面が現れます。既定ではパワーオン セキュリティ機能は無効になっています。

パワーオン セキュリティの機能を有効にする手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。

2. ［設定］をクリックします。

3. ［パワーオンセキュリティ］をクリックします。

［パワーオンセキュリティ］画面が表示されます。

4. ［パワーオンパスワードを指紋に差し替える］チェック ボックスをオンにし、［完了］をクリックします。

5. ［追加］をクリックし、表示されている中から指紋を選択します。

パワーオン セキュリティ メモリに追加した指紋は、［パワーオンセキュリティで認証されている指紋］ウィンドウに表示されます。

6. 必要に応じ、他の指紋も追加します。

7. ［完了］をクリックします。

8. パワーオン パスワードの設定がまだであれば、BIOS 設定ユーティリティを使って設定します。

［パワーオンセキュリティ］画面の［パワーオンセキュリティで認証されている指紋］ウィンドウには、パワーオン セキュリティ デバイスのメモリにある指紋が表示されます。緑の指紋アイコンは、これが現在のユーザーの指紋であることを表します。灰色の指紋アイコンは、これが他のユーザーの指紋であることを表します。

メモ：パスポートに指紋を追加または削除しても、パワーオン セキュリティで使う指紋が自動的に追加または削除されることはありません。

BIOS 設定ユーティリティによるパワーオン パスワードの設定

指紋認証ユーティリティのパワーオン セキュリティ機能を有効にするためには、BIOS 設定ユーティリティを使って、パワーオン パスワードを設定する必要があります。ThinkVantage 指紋認証ユーティリティのパワーオン セキュリティ機能を正常に動作させるには、この BIOS 設定が必須です。

BIOS パスワードを設定する手順を以下に示します。

1. コンピュータを再起動します。

2. 起動時にプロンプトが表示されたら、F1 キーあるいは BIOS 特有の起動割り込みキーを押して、BIOS 設定ユーティリティを起動します。

3. ［セキュリティ］を選択し、パワーオン パスワードが設定されていることを確認します。

4. パワーオン パスワードの機能と、必要ならばハード ドライブ パスワードの機能を有効にします。

5. F10 キーを押して変更を保存し、BIOS 設定ユーティリティを終了します。

6. Enter キーを押して続行します。

メモ：

- これ以降、ログオンしようとするとパワーオン パスワードの入力を求められます。正しいパスワードを入力すると、指紋と BIOS のパワーオン セキュリティが関連付けられます。
- 実際の操作手順は、コンピュータに組み込まれた BIOS 設定ユーティリティによって異なる場合があります。

パワーオン セキュリティにより認証済みのユーザーの自動ログオン

パワーオン セキュリティは、ユーザーが Windows にログオンするように設定することもできます。これが有効であれば、パワーオン セキュリティ機能で使用される指紋が、ある既存のパスポートの指紋と一致する場合、該当するユーザーは、Windows に自動的にログオンできます。通常、電源投入時と Windows へのログオン時の 2 回指紋認証が必要ですが、その手間を省略して 1 回で済ませるための機能です。

パワーオン セキュリティにより認証済みユーザーの自動ログオンを有効にする手順を以下に示します。

1. ［スタート］>［プログラム］>［ThinkVantage］>［指紋認証ユーティリティ］>［コントロールセンター］を選択します。
2. ［設定］をクリックします。
3. ［システム設定］をクリックし、［ログオン］ページに切り替えます。
4. ［パワーオンセキュリティの単一サインオンを許可する］チェック ボックスをオンにします。

チュートリアル

ストリップ センサは、新しい種類の指紋センサです。新しいセンサに慣れていただくために、指紋サンプルを作成したり、起こりうる問題を学習したりできるチュートリアルを作成しました。

このチュートリアルはいつでもコントロール センターから実行することができます。［スタート］メニューから［ThinkVantage］-［ThinkVantage 指紋認証ユーティ

リティ］－［指紋チュートリアル］を選択してください。登録ウィザードから実行することも可能です。

このチュートリアルでは、指紋の正しいスキャン方法、誤ったスキャン方法を、短いビデオで説明しています。高画質の指紋サンプルをスキャンする方法も学ぶことができます。

指紋サンプルを作成し、スキャンした画像を見ることもできます。センサに指を通す適切な位置や圧力を理解することができます。

ヘルプ

これをクリックするとヘルプが表示されます。